



# 学校だより 青い鳥

平成28年度3月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成29年3月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



春 三月

校長 藤澤 太郎

猫柳のほわとした感触が温かく、吹く風が日毎に柔らかくなってまいりました。つられて、今までじっとしていた正門や校庭の桜の木が、いよいよ活動をはじめたようです。

本校の今年度の教育活動に対し、地域・ご家庭の皆様をはじめ、PTAや後援会の皆様から、ご支援・ご協力をいただきましたことに御礼を申し上げます。おかげさまで、教育活動全体につきましては概ね順調とみております。また、90周年記念事業では、共に祝い、今後の発展を祈念することができました。重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

6年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。昨年4月からの付き合いでしたが、皆さんの卒業に立ち会うことに幸せを感じています。卒業にあたり、皆さんの良いところを一つ挙げて欲しいと言われれば、それは、「伸び伸びとして元気であること。」です。子どもは誰でも伸び伸びしているものです。しかし、この6年生の目の輝きや立ち居振る舞いは、真に可能性を感じさせるもので、思わず「頑張れよ！」と声をかけたくなくなってしまいます。相手の気持ちを察して活動することは、現代人の大きなテーマと考えますが、この子たちに限ってはそういう面で苦勞することはないだろうと思っています。そう言えば、修学旅行ではたいへんお世話になりました。先生方にとても気を遣ってくれる学年で、言い方を変えると、自分たちで自治しようとする気持ちが充実し、自分たちの考えや時間を大切にすることがあります。結果として、「ここから先は先生の範囲で、ここまでは自分たちで頑張ろう！」というぐらいの身のこなしになっているのだと思います。良い仲間と出会って、充実した時間を過ごすことができたことは、一生の財産になると思います。卒業しても、おそろくずっと付き合い合っていく人たちになると思います。大切にしてほしいと思います。

ところで、春、三月になりました。この時期に、誰もが抱く感情として、「あわただしい」、「一日がはやい」、に加えて、何と言っても「4月への期待」が大きいことと考えます。そして、4月への準備はしっかりした方が良いとは考えますが、その前に、この何年間か、あるいは一年間の出来事や気持ちの整理・消化も大切なところだす。一人ひとりの子どもは、自分の気持ちを確かめたり次への方針を立てたりすることは苦勞かもしれません。そのための卒業式であり、修了式であり、各教科等のまとめの授業です。と言っても、これは大人の考えで、子どもの心の中は、もっと複雑なものともみています。そうして、こんなことを考えている間に、入学式や新学期は確実（突然？）にやって来るのだと思います。そうなればそうなたで、大きな流れに身をまかせるとか？あるいは「心機一転」一回自分をリセットして主体的に生活を展開していくのか？といった大体的自分の中期的な工程（生き方）が思い浮かびます。大切なことは、「4月への期待」が持っていること、そして、（子どもが）自分の心や体の成長が喜びとして感じられていることと考えます。

山には山の、海には海の、そして里には里の春の楽しみがあると思います。春先の強風には身を引いてしまひますが、春の良い匂いや暖かい陽光を求めて、大人も先生も子どもも、誰もが新しい季節に期待を寄せています。卒業生にはがんばってもらって、良い手本を見せて欲しい。在校生には、新しい1年生をきちんと迎えられるだけの資質を身に付けて欲しい。と、願うばかりです。

## 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく